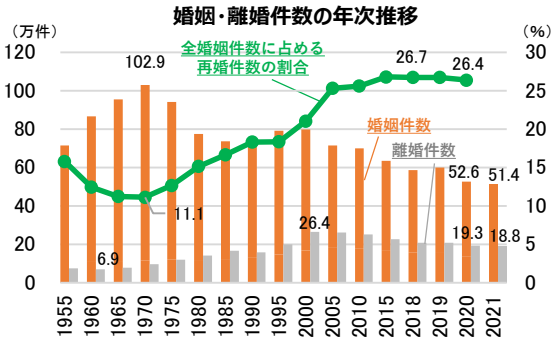
女性版骨太の方針2022（女性活躍・男女共同参画の重点方針2022）説明資料

令和４年６月３日
すべての女性が輝く社会づくり本部・
男女共同参画推進本部決定

・我が国の男女共同参画の現状は、諸外国に比べて立ち遅れ。
　➢昭和の時代に形作られた各種制度や、男女間の賃金格差を含む労働慣行、固定的な性別役割分担意識など構造的な問題。
　➢人生100年時代を迎え、女性の人生と家族の姿は多様化しており、もはや昭和の時代の想定が通用しない。
⇒「第５次男女共同参画基本計画」を着実に実行するため、令和４年度及び５年度に重点的に取り組むべき事項を定める。



男女の寿命（令和２年）

	女性	男性
90歳時生存割合	52.6%	28.1%
95歳時生存割合	27.9%	10.5%
平均寿命	87.71歳	81.56歳
死亡年齢最頻値	93歳	88歳

Ⅰ　女性の経済的自立

（１）男女間賃金格差への対応

○社内格差（垂直分離）

①男女間賃金格差に係る情報の開示

・令和４年夏に女性活躍推進法の制度改正を実施、常用労働者301人以上の事業主に対し、男性の賃金に対する女性の賃金の割合を開示することを義務化。有価証券報告書についても同内容の開示を義務付け。

②非正規雇用労働者の賃金の引上げ（同一労働同一賃金の徹底）

・企業に対して、労務管理の専門家による無料相談や先進的な取組事例の周知等を実施。労働局による助言・指導等による法の履行確保。

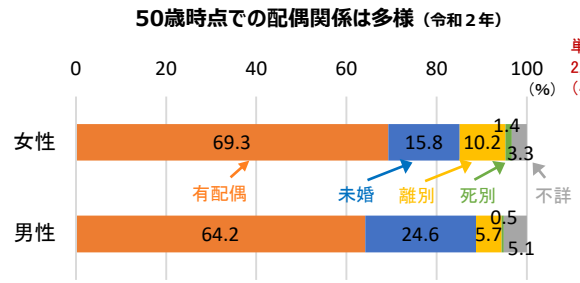
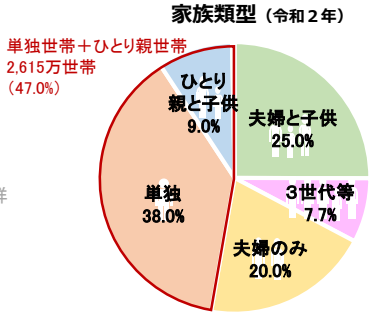
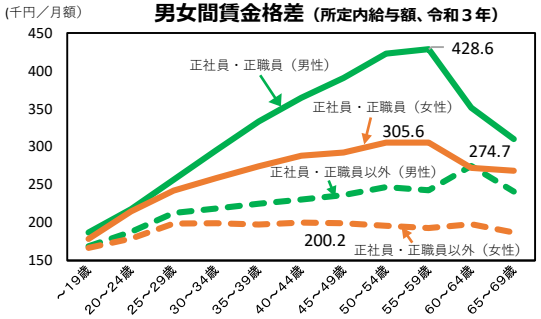
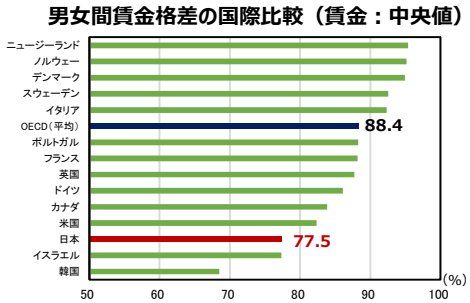
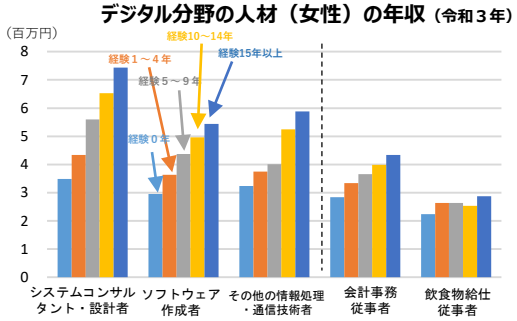
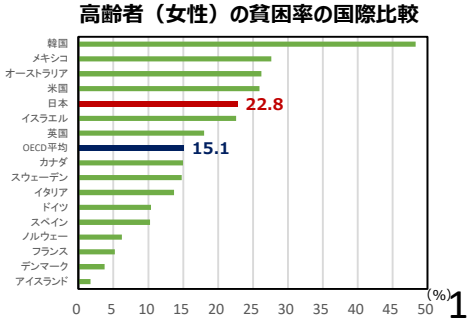
○職種間格差（水平分離）

①女性デジタル人材の育成

・女性デジタル人材育成プランに基づき、就労に直結するデジタルスキルの習得支援及びデジタル分野への就労支援を３年間集中的に推進。

②看護、介護、保育などの分野の現場で働く方々の収入の引上げ

・令和４年２月から実施している賃金の引上げ措置について、令和４年10月以降も継続して実施。

③リカレント教育の推進

・大学等において、デジタルリテラシーの育成やＤＸ推進のためのリスキリングを目的としたリカレント講座を開発・実施。